



令和6年能登半島地震の災害対策支援のため、国土交通省では緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）として石川県に136班454名（1月21日時点）の職員を派遣しています。

立山砂防事務所からは、1月5日（金）～9日（火）に派遣した第1班に続き、1月15日（月）～1月21日（日）までの7日間、第2班となる4名の職員が「被災状況調査砂防2班」として輪島市などで被災状況調査を行いました。

また、引き続き第3班として1月21日（日）からは1名の職員を総合指令班（砂防）として石川県庁に派遣しています。

TEC-FORCEは、大規模な自然災害時に、被災された自治体の支援のために、被害状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧などを行います。国土交通省ではTEC-FORCEによる能登半島支援を現在も継続して実施しています。



第2班出勤(1月15日 立山砂防事務所)

現地調査状況



事前打ち合わせ(石川県庁)



斜面の崩壊状況(熊野地区)



道路の損傷状況(中小田屋地区)



斜面崩壊、道路の損傷状況(尊利地区)



斜面の崩壊状況(里町地区)



斜面崩壊、道路の損傷状況(里町地区)



ドローンによる調査状況(熊野地区)



斜面の崩壊状況(上谷地区)



調書の作成(石川県庁)



第2班帰還(1月21日 立山砂防事務所)



第3班出勤(1月21日 立山砂防事務所)